

保福障支第1016号
令和2年5月29日

放課後等デイサービス事業所
管理者 様

さいたま市保健福祉局福祉部障害支援課長
(公印省略)

新型コロナウイルス感染症防止のための学校の臨時休業に関連した
対応に係る給付費等の取扱いの適用期間延長について

日頃から、本市の障害福祉行政に御理解、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、標記の件につきまして、令和2年2月28日付「新型コロナウイルス感染症防止のための学校の臨時休業に関連した対応に係る給付費等の取り扱いについて（保福障支第5259号）」及び令和2年3月10日付「放課後等デイサービス等を利用する児童が新型コロナウイルスの影響で事業所を欠席する場合の取扱いについて（保福障支第5446号）」等において、臨時的取扱いを通知しているところです。

本市においては、6月1日から、段階的に教育活動が再開されることとなりましたが、当面の間は分散登校の実施が予定されております。分散登校の実施期間中は別紙の取扱いを適用し、通常の登校が開始された以後は、通常の取扱いとなります。

○本市の学校における臨時休業の情報

(<https://www.city.saitama.jp/002/001/008/006/009/p072394.html>)

(給付費に関する問合せ)

さいたま市保健福祉局福祉部
障害支援課 自立支援給付係
TEL 048-829-1305
FAX 048-829-1981
e-mail shogai-shien@city.saitama.lg.jp

(体制に関する問合せ)

さいたま市保健福祉局福祉部
障害支援課 審査指定係
TEL 048-829-1309
FAX 048-829-1981
e-mail shogai-shien@city.saitama.lg.jp

【分散登校期間の考え方】

市立学校については、分散登校実施期間を6月1日から12日までとしておりますが、県立学校においては、学校毎に期間を定めております。

そのため、本市の受給者については、県内で分散登校が実施されている当面の間（6月末まで（予定））は、下記の取扱いを行うこととする。

（１）学校休業日単価の適用について

学校休業日単価を適用する。

（２）決定支給量について

保護者から利用予定日以外に希望があり受け入れた場合等は、決定支給量を超える提供を可とする。

（３）開所時間減算について

開所時間については、可能な限り長時間としていただくようお願いしているところですが、長時間の受入体制が整わずに6時間未満の開所時間となる場合も開所時間減算は適用しない取扱いとする。

（４）電話等による支援について

児童発達支援、医療型児童発達支援、居宅訪問型児童発達支援、放課後等デイサービスについて、新型コロナウイルス感染予防の観点から、事業所が居宅への訪問、電話等で児童の健康管理や相談支援などの可能な範囲での支援の提供を行った場合、加算を含めた報酬の算定を可能とする。

ただし、実績を伴った場合に算定できる「送迎加算」「食事提供加算」「欠席時対応加算」等については算定できない。

（５）保育所等訪問支援について

訪問先が休業している場合は、従前から保育所等訪問支援を実施していた児童に限り、前月の利用回数を限度として、居宅等において健康管理や相談支援等のできる限りの支援の提供を行ったものについて、報酬の算定を可能とする。

なお、新型コロナウイルス感染症を予防するため、保護者から居宅への訪問を断られた場合は、電話等による支援も可能とする。

（６）国通知（令和2年5月1日付「新型コロナウイルス感染症防止のための小学校の臨時休業に関連した放課後等デイサービスに係る Q&A について（4月28日版）」）の取扱いについて

新型コロナウイルスの影響により、定員超過や人員基準を満たさなくても、

定員超過減算、サービス提供職員欠如減算は行わない

また、その他の加算・減算の取扱いについても、国通知を適用する。